

令和6年度（2024年度）豊山町子ども議会 開催報告書



目次

- 1 実施概要
- 2 開催までのあゆみ
- 3 子ども議会 開催日
- 4 子ども議員及び保護者アンケート結果
- 5 近年の取り組み
- 6 会議録

1 実施概要

1 目的 豊山町の将来を担う子どもたちが、議会を体験することにより、市政に関心を持ち、未来の豊山町を考える機会とすることを目的とする。

2 主催 豊山町議会

3 概要

- (1) 対象者 町内在住の小学5年生～6年生
- ・全ての日程に参加可能な方
 - ・YouTube等のメディアで放映されることに承諾いただける方

(2) 開催日時

項目	日時	内容
第1回 事前研修会	7月26日(金) 午前9時30分～正午	任命式、町議会の役割について説明 施設見学
第2回 事前研修会	8月9日(金) 午前9時30分～正午	質問書の作成
リハーサル	8月21日(水) 午前9時30分～午前11時	本番に向けての全体練習
子ども議会	8月23日(金) 午前9時30分～午前11時30分	子ども議会、記念撮影
町長との懇 談会	8月23日(金) 午前11時30分～正午	子ども議員、保護者、町長、副町長、 教育長、全議員での懇談会

(3) 子ども議員一覧 10名

豊山小学校	6年生	山口	蓮さん
新栄小学校	6年生	松岡	花芽さん
志水小学校	6年生	縄田	健人さん
新栄小学校	6年生	保科	匠音さん
豊山小学校	6年生	伊藤	境舵さん
豊山小学校	6年生	阿部	陽人さん
志水小学校	5年生	今枝	佳來さん
新栄小学校	5年生	井尻	和秀さん
豊山小学校	6年生	佐藤	豊久さん
豊山小学校	6年生	平田	隼敏さん



2 子ども議会開催までのあゆみ

1 第1回事前研修会 令和6年7月26日（金）

議長から任命状が授与され子ども議員に就任しました。

議会について学んだ後、議長の選任、班分けを行い、施設見学を行いました。

(1) 議長の決め方

議長選出は、立候補による。

立候補者が1人の場合、その子が議長に決定

立候補者が2人の場合、前半と後半で交代して議長を担う。

立候補者が3人以上の場合、ジャンケンで2人を選ぶ。6年生を優先とする。

(2) 施設見学 議場、理事者控室、図書室



2 第2回事前研修会 令和6年8月29日（金）

総務文教委員会グループと福祉建設委員会グループに分かれて、質問書の作成を行いました。



3 リハーサル 令和6年8月21日（金）

実際の議場を使って、当日の立ち振る舞いや発言内容などのリハーサルを行いました。



3 子ども議会 開催日

1 子ども議会

令和6年8月23日、子ども議会を開催しました。子ども議員10名をはじめ、町会議員、町長や町職員が参加し、本会議さながらの質問と答弁が繰り広げられました。

(1) 質問者・質問数・タイトル一覧表

順番	議員名	質問数	タイトル
1	やまぐち れん 山口 蓮 議員	1	新しく建つ中学校について
2	まつおか あやめ 松岡 花芽 議員	2	①道の雑草について ②側溝に安全対策を
3	なわた けんと 縄田 健人 議員	1	スカイプールに代わる学校プールの開放について
4	ほしな たくと 保科 匠音 議員	2	①校庭開放の時間変更について ②花火大会の開催について
5	いとう きょうた 伊藤 境 舵 議員	1	豊山町に新しい遊べる場所を
6	あべ はると 阿部 陽人 議員	2	①ボールが使える公園について ②カラスのゴミあらしについて
7	いまえだ けいら 今枝 佳来 議員	2	①犬と人が住みやすい町 ②田畑の再利用について
8	いじり かずひで 井尻 和秀 議員	2	①食料自給率について ②豊山町の防犯灯について
9	さとう とよひさ 佐藤 豊久 議員	1	安心安全なまちづくりについて
10	ひらた はやと 平田 隼敏 議員	1	豊山町や通学路をきれいにすることについて

▼動画 当日の子ども議会の様子

<https://www.youtube.com/watch?v=YV6TYYh7D8k>



2 町長との懇談会 令和6年8月23日（金）

子ども議会終了後、町長との懇談会を行いました。

- (1) 時間・場所 役場4階 全員協議会室 11時30分～11時55分
- (2) 参加者 子ども議員、保護者、町長、副町長、教育長、町会議員全員
- (3) 子ども議員の感想、意見
 - ・緊張した ・意外と短く感じた ・楽しかった
 - ・自分の言いたいことが言えた ・疲れた ・終わって、すっきりした
- (4) 保護者の感想、意見
 - ・子どもの質問に対して、こんなにきちんと対応していただけたと思わなかった。対応していただいたことに感謝する。
 - ・いい経験をさせていただいた。この経験を中学や高校でも体験できたら、本人の成長にもっとつながると思う。中学生や高校生議会も検討していただければ。
 - ・名古屋市民であるが（孫を見に来て）、子どもたちと町がとても身近であると感じた。コンパクトなまちだからこその取組だと思う。ぜひ継続して実施していただければと思う。
 - ・町長をはじめ、幹部の方々から真摯に答えていただいているのがよく分かった。ありがとうございます。
 - ・引込み思案の性格なので、夏休みの体験学習として、子どもを参加させていただいた。本当にいい機会をいただいたと思う。
 - ・町でも、国会と同じようなレベルの会議が開かれているのを知り、驚きました。
 - ・子供たちの意見をしっかり受け入れていただいて、答弁をいただけていたと思う。
 - ・本人は生徒会長を目指しているので、今回の子ども議会はいいい経験、勉強になったと思う。



4 子ども議員及び保護者アンケート

実施期間 令和6年8月29日（木）～令和6年9月20日（金）

回答数 8

(1) 子ども議員回答

問1 議会と行政（豊山町）の仕組みについて理解が深まりましたか。

○かなり深まった	○少し深まった	○深まらなかった	○わからない
4	4	0	0

問2 質問を通して、あなたの思いや考えを伝えることはできましたか。

○十分できた	○少しできた	○できなかった	○わからない
7	1	0	0

問3 質問に対する町の答弁（考え）はどうでしたか。

○すごく高まった	○少し高まった	○変わらない	○わからない
6	2	0	0

問4 子ども議会に参加して、町議会への興味や関心が高まりましたか。

○すごく高まった	○少し高まった	○変わらない	○わからない
4	3	1	0

問5 将来、選挙に行こうと思いますか。

○かならず行く	○たぶん行く	○行かない	○わからない
2	6	0	0

(2) 保護者回答

問1 子ども議会に参加して、保護者様自身について町議会への興味や関心が高まりましたか。

○すごく高まった	○少し高まった	○変わらない	○わからない
5	1	1	1

問2 今後このような事業があった際、ご自身及びご家族にて参加しますか。

○かならず参加する	○たぶん参加する	○参加する	○わからない
1	5	1	1

(3) 自由記入欄

- ・子ども議会の中で発言できたことを貴重なことだと思います。この機会を今後に生かせればなと思います。
- ・子ども議会に参加させていただき、親子共に町政への関心が高まり、町の動きを見る目が変わったように思います。豊山町の大事な一員であるという気持ちが子供の中に芽生えたように感じます。お忙しい中、子どもたち一人ひとり呈音にご指導くださった議員の皆様どうもありがとうございました。中学、高校生になった頃にも、町政を感じられる良い機会がありますことを願っております。
- ・子ども議会へ参加することを通して、町政への関心が高まりました。特に6年生は公民を社会で学習済みですので、より関心を持って取り組みました。質問を考える時点で、候補をいくつか考え、町として改善できそうな案を議員の方々に選んでいただけたら、取組がいのある議会になったと思います。
- ・議会の仕組みがわかったことで、普段気づかなかったことや、考えなかったことに気がつきました。
- ・貴重な体験ができて良かったと思います。なかなか思うように話せないところもあったと本人は言っていましたが、今回の経験を今後に生かして欲しいです。
- ・子ども議会について幅広く知ってもらうために、各小中学校で行うのはどうかな、と思いました。議員さんだけでなく、教育長さんや、町長さん、〇〇長さんが来て答弁する姿を見る機会はなかなかないので。初めて見たときオオ～ッてなりました。全員来てもらうのは大変なので、2～3組に等分するとか、学校行事の1つとか。
- ・今回議長をやりたいと思っていて、その思いとおりに議長をやれる事になって、とても良い経験になりました。

5 近年の取り組み

(1) 平成20年度 主催 豊山町教育委員会

(2) 令和4年度

主催	町制施行50周年記念事業、町教育委員会
応募方法	学校を通して
対象者	小学5年生、6年生
参加者	議長2名、質問者9名 計11名
リハーサル	8月8日(月)
子ども議会	8月22日(月)
フォローアップ	感想文集作成

議長 志水6年 夏山 創太郎、志水5年 橋立 優里

		質問者		内容
1	新栄	6年	西尾 和奏	町の中で力を入れている税の使途について
2	新栄	6年	河村 海斗	災害対策としての取り組みについて
3	志水	6年	前田 みなみ	児童館などの施設の充実について
4	豊山	6年	小坂 優理	鉄道などの新たな交通機関について
5	志水	6年	原田 舞生	運動を楽しめる政策について
6	豊山	6年	戸田 眞白	町の温暖化政策や目標について
7	豊山	6年	柴田 紗希	町をPRするようなイベントについて
8	志水	5年	溝口 留加	安心安全な地域づくりのために
9	新栄	6年	森 翔太郎	名古屋空港のできた理由とその良さ

令和4年度 集合写真



(2) 令和5年度

主催	町議会
応募方法	公募
対象者	小学5年生、6年生
参加者	議長2名、質問者9名 計9名
事前研修	研修 8月1日(火) リハーサル8月18日(金)
子ども議会	8月28日(月)
フォローアップ	町長との懇談会(子ども議会終了後)、事後アンケート

議長 志水6年 志水 亮、志水6年 内山 幹大

		質問者		質問内容
1	志水	6年	志水 亮太	子供会の減少と対策について
2	志水	6年	太田 陽葵	子供達が安全に通行できる歩道を
3	志水	5年	太田 樹	・学校の体育館や社教センターにエアコン設置を ・スカイプール廃止の理由は
4	志水	6年	石黒 巧真	給食の量を増やしては
5	志水	6年	坂口 恵翠	学校のトイレをきれいに
6	豊山	6年	加藤 知輝	・小学校の部活動について ・スポーツ少年団の入団者数について
7	志水	5年	縄田 健人	放課後の遊びについて
8	豊山	5年	山口 蓮	子ども消防クラブについて
9	志水	6年	内山 幹大	・部活動が無くなった理由について ・議会に地空人は来るのか ・ボール遊びができる公園が少ないという質問のその後について

令和5年度 集合写真



令和6年豊山町子ども議会 会議録

令和6年8月23日 開会

令和6年8月23日 閉会

令和6年豊山町子ども議会

1. 議事日程 令和6年8月23日(水) 午前9時30分 於 議場

日程第1 一般質問

2. 出席議員は次のとおりである。

子ども議員 10名

豊山小学校	6年生	山口	蓮(議長)	新栄小学校	6年生	松岡	花芽
志水小学校	6年生	縄田	健人	新栄小学校	6年生	保科	匠音
豊山小学校	6年生	伊藤	境舵	豊山小学校	6年生	阿部	陽人
志水小学校	5年生	今枝	佳來	新栄小学校	5年生	井尻	和秀
豊山小学校	6年生	佐藤	豊久	豊山小学校	6年生	平田	隼敏(議長)

豊山町議会議員 10名

1番	岩	下	竜	也	2番	作	野	桂	子
3番	岡	島		剛	4番	坪	井	孝	仁
5番	岡	島	政	信	6番	坂	田	芳	郎
7番	岩	村	み	ゆき	8番	水	野		晃
9番	大	口	司	郎	10番	熊	沢	直	紀

3. 欠席議員は次のとおりである(なし)

4. 説明のため出席した者の職氏名(10名)

町	長	鈴木	邦	尚	副	町	長	安	藤	敏	毅						
教	育	長	北	川	昌	宏	理	事	江	崎	嘉	彦					
企	画	調	整	部	長	早	川	憲	二	総	務	部	長	堀	尾	政	美
生	活	福	祉	部	長	井	上	武	産	業	建	設	部	長	高	桑	悟
教	育	委	員	会	長	安	藤	憲	司	教	育	参	事	山	中	洋	子
教	育	委	員	会	長	安	藤	憲	司	教	育	参	事	山	中	洋	子

5. 職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名(2名)

事	務	局	長	小	川	徹	也	書	記	下	村	友	美
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○議会事務局長 子ども議員が入場いたしますので、皆さん拍手でお迎えください。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前9時30分 開会

○豊山町議会議長（坪井孝仁君） 皆さんおはようございます。本日は豊山町の未来を担う皆さんと子ども議会を開催できることを大変嬉しく思います。まず初めに今回の子ども議会の開催にあたり、ご協力を賜りました学校関係者、保護者の方々、当局の皆様そして参加してくれた小学校の皆様へ心から感謝申し上げます。この子ども議会は皆さんが子ども議員として町政に関する質問を行い、実際の議会と同様に当局からの答弁を受けることで町政に対する理解を深め、関心を持ってもらうことを目的としております。これは豊山町の未来を考える上で非常に重要な経験となると思っております。この子ども議会は町政50周年記念事業の一環として令和4年度から始まり、今回で3回目を迎えます。このような取り組みが続けられることは、町の発展にとって非常に意義深いことであることだと考えております。参加する皆さんはこれまで2回の研修を通じて、議会の役割や町政について学び、質問の作成に取り組んでまいりました。その努力と熱意に敬意を表します。皆さんの質問や意見は私たち大人にとっても非常に貴重なものです。どうか自信を持って自分の考えをしっかりと伝えてください。皆さんの声が豊山町の未来をより良いものにする力となることと信じております。そして傍聴の方へのお願いがあります。本来傍聴者の撮影や録音については禁止とされておりますが、この会については保護者の方や記者の方には許可をしております。撮影機器などの音やSNSなどの配信については、各別なるご配慮をお願いいたします。最後に今日の子ども議会が皆さんにとって有意義な経験となり町政に対する関心がさらに深まることを願っています。それでは子ども議会の開会を宣言させていただきます。これからの議事進行については子ども議会の議長と交代させていただきます。よろしくお願いたします。

○議長（平田隼敏君） 皆さん、おはようございます。

私は前半の議長を務めます、豊山小学校6年 平田隼敏です。

この子ども議会は、私たちが豊山町の未来について考え、話し合う貴重な機会です。皆さんの意見やアイデアを大切に、よい提案ができるよう努めていきますので、どうぞよろしくお願いたします。

ただいまの出席子ども議員数は、10名であります。定足数に達していますので、ただ今から、令和6年度豊山町子ども議会を開きます。

本日の議事日程につきましては、別紙でお手元に配布致しましたとおりであります。ここで、町長よりあいさつを受けます。鈴木町長。

○町長 改めて皆おはようございます。子ども議員の皆さんは緊張されてるかと思いきや、けども、思い切ってますね本当に自分の心を込めて質問していただければと思います。私どもの方も真摯に、真面目に皆さんの質問に対してお答えしていきたいと思っておりますので1つよろしくお願申し上げます。開会にあたってのご挨拶をさせていただきます。本日はどうかよろしくお願いたします。

○議長（平田隼敏君） 鈴木町長、ありがとうございました。それでは一般質問を行います。10名の子ども議員から通告がありましたので自通告順に基づき、最初に豊山小学校6年 山口蓮（やまぐちれん）君の発言を許可します。

○山口議員 豊山小学校6年山口蓮です。議長の許しを得ましたので質問させていただきます。僕は、新しく建つ中学校について質問をします。今年、中学校の構想計画が出され、今の中学校の場所に建て替えられると聞きました。僕は来年中学校に通うことになります。運動が大好きで特にサッカーが好きな僕は中学校に入ったら運動部に入って活躍したいです。でもお母さんから中学校の建替えて運動場が使えなくなると聞きました。そこでお聞きします。中学校はいつ頃工事に入っていつ頃完成を目指していますか。工事のスケジュールを教えてください。そして工事が始まると中学校生活に支障が出てくるのではないかと心配しています。もし運動場が使えなくなるのなら運動ができる手立てを考えてほしいです。その考えありますか。以上答弁をお願いします。

○議長（平田隼敏君） 安藤教育委員会事務局長

○教育委員会事務局長 豊山中学校の改築について、工事や完成までのスケジュールと、工事期間中の運動場の利用について、ご質問をいただきました。まず、新しい豊山中学校の工事や完成までのスケジュールについてお答えします。豊山中学校の改築については、今年の3月に基本計画を作成いたしました。この計画は新しい中学校の基本

的な方針と考え方をまとめた内容となっています。今後は、建物を建てていただく会社や費用、日程など、あらかじめ決めておかなければならないことがたくさんあります。その作業に2年程かかります。その後、約1年半かけて建物をどのように立てるか、図面や計算書にする設計という作業を行います。設計書ができましたら、さらに約2年半かけて工事を行ってまいります。これだけで6年かかります。今のところ、いつから工事を始めるかは決まっていません。今、ご説明したスケジュールを、もし来年度から行っていく場合には、新しい中学校の工事開始やその完成は、山口議員が中学校を卒業してからになります。続いて、工事期間中の運動場の利用についてお答えします。今の中学校の場所に校舎を建て替える場合、仮の校舎を建てたり、工事に必要な道具や資材を置いたりするために広い場所を確保する必要があります。工事が始まると運動場のほとんどが長期間使えなくなります。そのため、体育の授業や部活動については、豊山グラウンドや豊山小学校の運動場等を使用することができないか検討を行っていきたいと考えています。教育委員会では、工事期間中であっても、皆さんの安全を最優先に考え、学習環境に与える影響を最小限に抑えられるよう、運動場の利用を含めその対策を検討していきます。

○議長（平田隼敏君） 北川教育長

○教育長 教育長の北川でございます。中学校の改築についてご質問いただきましたので私からも少し説明をさせていただきます。豊山中学校は昭和38年に建設をし、約60年が経過しております。この改築をどうやってやっていこうかということで令和3年度に改築のための基本構想会議というのを立ち上げまして、専門的な方あるいは町民の皆さんからアンケートいただいたりして、目指すべき中学校のあり方についてまとめております。その成果を踏まえて、ご質問にもございました改築基本計画というものをまとめております。せっかくの機会でありますので少しその考え方を説明いたしますと、先ほど運動のことも心配されてみましたが、ICT教育といった新しい学びそういったものへの対応はもちろん、生徒さんたちがより学びやすい環境これを第一に考えております。それから地域のコミュニティの拠点として地域の皆さんにも利用していただきたいと、こういう施設にしたいと。さらに災害対応ということで安全安心な施設にもしたいということで、学校の施設というもののたくさんの機能を備えた学校にしたいとこんなようなことをまとめてございます。もう少し具体的なこと言うと、例えば机の大きさを少し大きくしてみようとか、教室ももう少し今より広くしてみようとかこんなことも考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。新しい中学校は、現在の中学校の場所に建て替える計画になっておりまして、ご質問にございました工事の時期や方法についてはこれから決めてまいりますけれども、何よりも運動ができる手立てということございましたけれども、それも含めて学習環境や、地域の皆さんへの環境等への影響ができるだけ少ないような方策対策をしっかりと考えていきたいと思いますので、どうかご理解いただきますようによろしくお願ひいたします。以上です。

○議長（平田隼敏君） 只今、答弁がございましたが、再質問はありませんか。山口蓮君

○山口議員 大変よくわかりました。ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（平田隼敏君） 山口蓮君の質問が終わりました。

次に、新栄小学校6年 松岡花芽君の発言を許可します。松岡花芽君

○松岡議員 新栄小学校6年 松岡花芽です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせていただきます。私は2点のことについて質問します。1点目は、道の雑草についてです。豊山町には歩道まで雑草が出てきている場所が多いです。車とすれ違ったりすると雑草と車をよけなければいけないから、車にぶつかりそうで怖いです。お母さんに車から見てどうか聞いてみると、やはり車から見て歩行者や自転車にぶつかって怪我をさせそうで怖いと言っていたので、豊山町の除草の回数を増やすのはどうでしょうか。それが難しいのであれば地域みんなで草むしりをするというのが私的には一番いいと思うので、このようなことをやっていただけないでしょうか。2点目は側溝の蓋がない場所があることについてです。私は遊びに行く時にシロクマの車屋さん付近の側溝に蓋がなく、車が来ている時にすれ違うと思ったら側溝に落ちそうになったことがあります。さらに老人や小さな子どもがそこを通ると落ちてしまうかもしれません。そして落ちてしまうと抜け出せなくなったり、怪我をしてしまうかもしれません。さらに側溝に蓋がないことで泥やゴミが溜まって災害の危険性が高まる可能性もあると思います。ですので側溝の蓋がないところには、蓋や柵を作って安全な生活を送れるようにするのはどうでしょうか。以上答弁をお願いします。

○議長（平田隼敏君）高桑産業建設部長

○産業建設部長 一つ目の質問、道路の除草についてお答えします。道路の除草は、1年に1回業者をお願いして、交通安全の面で必要と判断される箇所を優先的に実施しております。その他にも職員が現場に出向いた際に確認したり、住民の皆さんからの通報により、それぞれ除草が必要とされる箇所があれば、職員により除草作業を行っています。次に道路の除草を、松岡議員からご提案いただきました地域の方々の協力により草取りを行うことはとても良い提案だと受け止めています。愛知県や他の自治体では、地域の住民による清掃活動を支援する取り組み事例があります。豊山町においても、まずは、住民さんの自宅の周りの道路をきれいにする取り組みが、町全体に広がっていくような取り組み事例を勉強していきたいと考えております。二点目の質問についてお答えします。側溝は、道路面に降った雨水(あまみず)を排水するために道路の両側に設けた溝であります。雨水(あまみず)以外にも、ごみや土などが側溝に流れ込んだ場合には、清掃の必要があることから、管理をしやすいするために、多くは側溝に蓋(ふた)をしていませんでした。しかし、豊山町では、狭い道路が多くあり、道路の幅を有効に活用することと、歩行者の安全確保などのために、現在は側溝に蓋(ふた)をする工事を進めています。令和5年度における豊山町が管理する道路の側溝に蓋(ふた)がある率は90.5パーセントとなっています。今後におきましても、側溝に蓋(ふた)をする工事を、順番に実施してまいります。

○議長（平田隼敏君）鈴木町長

○町長 松岡さんから、とても我々なかなか気がつかないご指摘いただいて、大変ありがたいという風に思っています。まず今回は、多分松岡さんが毎日クラスの中で学校行く途中のことであるとか、それから遊びに行ったり、買い物に行ったりする時に気がつかれたことだと思って、よくそこへ目が行ったなと思って、本当に關心しております。その中で雑草の話とか、それから側溝の蓋の話が出ました。雑草等につきましては町の方もですね、できる限り部長が答弁した通り、住民の方から通報があればできるだけ速やかに対応していると、ただ定期的な掃除については年に1回という、今そういう形でやらせていただいています。これからも是非気が付かれたらご指摘いただければ職員がそこへ行って、できる限りの対応したいと思っています。一方で例えばいろんな町によっては豊山町もそうですけども、一部どうですか会社でお勤めの方が会社の周りの清掃をですね、定期的に行って見えるそういう会社もありますし、それから住民の方もですね、自分の自宅の周り自分でも綺麗にして見える方々もいます。そうした運動をですね、そういう団体をですね、増やしていくこともやっぱり大事なところだと思います。住民の方が自分が住んでるところを綺麗にしようと、あるいは危ないところをなくそうと、そういうような形で、自分たちが気がついたところを少しずつでも直していくという、そうそういうこともね大事なことだと思っています。そういう運動も広げていきたいなという風に思っています。また側溝の蓋の件については、豊山町の古い歴史というか、豊山町に限らずですね農村地帯の古い歴史ですが、いわゆる農業のための用水を流すのが基本的に大きな役目で、その時には要するに蓋があるとですね、日頃の手入れがなかなか難しい。そういう多分歴史的な経緯があったんだろうと思います。ところがこういう社会になってきますと、車がたくさん通ったり、町長は子どもの頃は本当に町内に車なんか走っていませんでした、そういう時代だったんですね。でここ50年が経つと、そういう形ですすね、どんどん車が走るようになって、歩行者の方が非常に危ない思いをすると、そういうことでね、側溝に蓋をするということが始まってきて、順番に町も取り組んでいます、まだ90%ぐらい。あ10%残っているということです、それは順次、側溝ですから道路の改良をしたり、下水を新たに整備したりとか、そういう機会になりますので、そういう機会を捉えて、なるべくコストをかけなくてもやっていける、そういう手法を駆使してこれから順次対応していきたいと思っていますので、ご理解をよろしく願います。またこれからのいろんな気がついた点があったら、どんどんご指摘をください。よろしく願いいたします。

○議長（平田隼敏君） 只今、答弁がありました、再質問はありませんか。

○松岡議員 道の雑草と速攻の安全対策について大変よくわかりましたありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（平田隼敏君） 松岡花芽君の質問が終わりました。

次に志水小学校6年 縄田健人君の発言を許可します。縄田健人君

○縄田議員 志水小学校6年 縄田健人です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせ

ていただきます。僕はスカイプールに変わる学校のプールの解放について質問します。スカイプールは今年で終わるのでプール遊びができるところがなくなってしまいます。そこで小中学校のプールを解放して欲しいです。理由は、僕の学校ではプールがすごく好きな人たちが多くいます。小学校は少し浅いプールがあります。また中学校は屋根がついていて雨の日でもプールができます。そこで小中学校のプールの解放をしてください。以上答弁をお願いします。

○議長（平田隼敏君）安藤教育委員会事務局長

○教育委員会事務局長 縄田議員のご質問にお答えします。スカイプールの代わりに子どもさんが楽しく遊ぶことができる施設について、現在いろいろと検討しているところです。縄田議員からご提案いただいたように、小学校や中学校のプールを夏休みの間に開放することもその一つであります。ご指摘のように、小学校のプールは浅いので小さい子どもも安心して遊べますし、中学校のプールは屋根があるので雨の日でも楽しめます。ただ、小中学校のプールを4つすべて開放するには費用がかなり必要なため難しいと考えています。小中学校のどこのプールを開放するのが一番良いかを考え、みんなが楽しく安全にプールで遊べるように、準備を進めていくよう努めてまいります。

○議長（平田隼敏君）北川教育長

○教育長 私からも答弁をさせていただきます。先ほどは山口議員から中学校の改築に関して、今回は縄田議員から学校プールの解放についてご質問いただきました。いずれも学校施設に関わるものということでは共通していると思います。せっかくの機会でありますから少し説明をさせていただきます。今から40年から50年くらい前になりますけれども、子どもさんの数が一気に増えた時代がありました。そういった時代に学校の校舎やプールの整備が積極的に進められた時代があります。しかし今、子どもさんの数がだんだん減少傾向に入ってきてまいりまして、施設も老朽化、少し古くなってまいりました。そういう中で、公共施設や学校の校舎、プールこういったものをこれからどうやって整備していくのか、あるいは統廃合していくのかといったようなことも、今、他の市町村でもそうですけれども共通の課題になっています。プールにつきましては熱中症対策などもありまして、これも他の市町村でも学校のプールの使用だとか、それから水泳の授業のあり方についても検討が始まっています。豊山町においても、今、一生懸命考えていますので、こうしたことも合わせて、縄田議員がご提案された学校プールの解放について、こういった全体のことも含めながら学校プールの解放については是非考えてみたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（平田隼敏君）只今、答弁がありました。再質問はありませんか。縄田健人君

○縄田議員 大変よくわかりました。ありがとうございます。これで質問終わります。

○議長（平田隼敏君）縄田健人君の質問が終わりました。

次に新栄小学校 6年 保科匠音君の発言を許可します。

○保科議員 新栄小学校6年 保科匠音です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせていただきます。私は2点のことについて質問します。1点目は、校庭解放の時間変更についてです。現在の校庭解放の時間は5時までですが、家に帰ってきてすぐ出発しても30程度しか遊べません。そのため校庭解放の時間を変更してほしいです。具体的な案として季節によって解放時間を変更することを提案します。内容としては、現在は5時までですが、夏場は5時でも十分明るいので5時半まで延長してもらおうと1時間遊べるようになり、スカイプールがなくなっても児童のみんなが楽しめる場になります。夏場の校庭開放を330分延長することはできますか。2点目は、花火大会の開催についてです。一昨年花火大会がありましたが、花火大会を年間行事として開催することはできますか。年間行事として開催して欲しい理由としてはとよやまDEナイトに続き、町全体の行事として花火大会を開催できれば、町全体がもっと盛り上がると思うからです。またとよやまDEナイトに行き損ねた人も花火大会に行ければ楽しめると思います。花火大会が年間行事として開催されれば、町全体が生き生き楽しい町として、他の自治体へのアピールにも大いにつながると思います。花火大会を年間行事として開催することを希望します。以上答弁をお願いします。

○議長（平田隼敏君）井上生活福祉部長

○生活福祉部長 1点目の校庭開放の時間変更についてお答えします。保科議員を始め児童の皆さんに、安全に楽しくのびのびと遊んでいただくため、令和6年度から小学校の校庭を子どもの遊び場として開放しています。これまで皆さんがルールを守って遊んでいただいているおかげで、大きな事故やトラブルもなく実施できております。保科議員から夏場の校庭開放を30分延長してはどうかとのご提案をいただきました。

今後、季節によってどのくらいの時間を開放することが適切なのか、日の入りの調査や、他市町の取組みなどを参考にしながら、校庭開放の時間延長に向けて学校や指導員などと調整していきたいと考えています。

○議長（平田隼敏君）早川企画調整部長

○企画調整部長 花火大会については、豊山町の町制施行50周年記念の事業として、令和4年12月に神明公園の芝生広場で開催し、大変多くの方々にお越しいただきました。その花火大会の会場となった神明公園の芝生広場では、現在、愛知県の基幹的広域防災拠点を整備するため工事中であり、すぐには開催できない状況にあります。町には夏の一大イベントとして、とよやまDEないとがあります。今年のとよやまDEないととは、中学生、高校生などの若者から80歳の方まで自分たちで楽しいお祭りを作りたいという人たちが集まり、町内事業所からの援助を受けて開催しました。新たな企画の実施や会場レイアウトなど、これまでのお祭りから大きくリニューアルし、約4千人の方々にステージや盆踊りを楽しんでいただきました。保科議員もご参加いただいたでしょうか。このような中、とよやまDEないとに続き、子どもや若者が楽しめる新たなイベントとして、「ウインターフェス」という冬のお祭りを、中学生や高校生、大学生などの若者たち約20名と一緒に、現在企画をしているところです。町全体を盛り上げるため花火大会を年間行事として開催してはどうかのご意見については、安全に開催できる場所の検討も含め、貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。町としては、保科議員を始め、豊山町に住んでいる皆さんが町をPRできる楽しいイベントを自由な発想で企画・提案して、自分たちで実行できるよう、住んでいて楽しいと感じていただけるまちづくりをしていきたいと思っています。今後、保科議員も、とよやまDEないとやウインターフェスなど、楽しいイベントの企画に参加できる機会があれば、積極的に関わっていただければと思います。

○議長（平田隼敏君）鈴木町長

○町長 保科さんは非常に活動的な子だなという風に質問を聞いてそう思いました。2点質問いただきましたけども、校庭解放については、おっしゃった通り夏場と冬場では太陽の日が落ちる時間も違いますので、いいご提案だと思っています。できる限りですね、あの部長は検討するということ言っていましたけど、町長としてはですね一刻も早く、いろんな事情があって町長がやれと言ってもなかなかできないことがたくさんあるんですけども、早期に取り組むような形でやっていきたいという風に思っています。ただあの一点知っておいて欲しいのは、結構校庭解放ってね、どこもやってないんですよ、意外とね。ですからそういうことを、先に取り組んだと。これも実は昨年、一昨年の子ども議会で、子どもさんからボール遊びするとこ無いから、ということとそれを受けてじゃあ校庭解放しようかということ、今年から取り組んだということですので、全然どどんね前向きないろんなご指摘をいただければいいかなという風に思っていますので、これからもよろしく願います。それから2点目の花火ですけども、実は誰もそうだと思うんですけども、町長もご多聞にもれず花火大好きです。ということで50周年の時に少しやったんですけども、やらせていただきましたけども、ただ残念なことに飛行場が隣にあるもんですから、高さがね。打ち上げる高さが法律で制限されていて、高い花火は打ち上げることができないですから、50周年の時にはちょっと低い花火、あるいは仕掛け花火というような形ではできないかなと思っています。部長が今、答弁した通りで、適当な場所が今のところ豊山町はなかなかないっていう、公園の整備が一段落すればですね、そこの中でもう1度できないかどうかということについては考えていきたいと思っています。そういう意味で町民の方々がこの町でもう少し楽しいイベントとかね、行事があるといいなという風な、多分皆さんそう思ってみえるんですけども。実はお祭りというのは基本的に地域から自分たちで作りに上げてくのが長く続くお祭り。日本全国どこでもですね、この時期ですと盆踊りなんかやっていますけども、豊山町は残念ながらね地区単位の盆踊りなかなかないんですけども、そういうのもできればね復活していくといいなという風に町長は個人的に思ったりはしています。その中で1つ例を上げると、先ほどウインターフェスやりたいと、若い子たちから提案があって、で、今年それを実現しようということで、今、着手をしかけたところです。それとですね似たようなことを言いますと、実は今日からね、名古屋で「どまつり」というのをご存知ですか。豊山町でも参加しているグループがあるんですけども、あの名古屋の中心地一帯でですね、要するに、自由に踊るといふか、そういうパフォーマンスが今日から、明日明後日まで、実は続くんです。名古屋の中心地とか名古屋駅の方とかね。いろんな箇所を続けて、これもで

すね始まってもう20年近くなるかも分かりませんが、今ではもう日本全国から人が、参加者も集まるし、観覧されるかもたくさんみえる一大行事になっていますけども、始まったのは20年前ぐらいで、ちょうどその頃、町長はこの事業に携わったことあるんですけども、最初にやり出して、やろうと言ったのは大学生です。ですから大学生が中心になって自分たちでボランティア活動みたいな形で始めたのが、ここまで大きくなって。ですから今でもですね、実際に運営しているのはそういう団体を立ち上げた大学生中心のグループでして、それがこんな大きな祭りになってくるということですので、是非皆さんもまだ今は小学生ですけど、これからもね、自分たちで面白いこと見つけてこんな事業やったらいいなっていうのをね、仲間を誘って始めていくとこれが10年20年続くそうですね、立派なお祭になるということも考えられますので、そういうことを持ってね、自分たちでまず動いてみようということも大事かなと思っています。そういうことも、もしあればね、町としてもできる限り支援していきたいという風に思っていますので、ご理解いただければと思います。以上でございます。

○議長（平田隼敏君） 只今、答弁がありました。再質問はありませんか。保科匠音君

○保科議員 答弁ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（平田隼敏君） 保科匠音君の質問が終わりました。次に豊山小学校6年 伊藤境舵君の発言を許可します。伊藤境舵君

○伊藤議員 豊山小学校6年 伊藤境舵です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせていただきます。僕は豊山町の遊べる場所について質問します。僕の住んでいる場所には遊べる場所が少なく、公園も広くなく、鬼ごっこはできません。なので、社教センターの無料解放をして欲しいです。そうすればみんなスポーツや広く遊べる場所があるので、楽しく遊べます。そして学校の「なかよし山」を使えるようにして欲しいです。どうしてかと言うと、学校に遊具が4つあり「なかよし山」が使えなくなり、遊具が少なくなり遊ぶ場所も少なくなりました。なので、また「なかよし山」が使えらるようになれば、まだ遊べてない学年も楽しく遊べて、遊具が増えて、遊ぶ場所も増えるのでより学校で過ごす日々が楽しくなると思うからです。以上答弁をお願いします。

○議長（平田隼敏君） 安藤教育委員会事務局長

○教育委員会事務局長 伊藤議員のご質問にお答えします。豊山町には広い遊び場が少なく、友だちと楽しく遊ぶ場所があまりないということが、よくわかりました。1つ目のご質問は社会教育センターのアリーナやホールを無料で開放してほしいというご提案かと思えます。とても良いアイデアです。しかしながら、アリーナやホールは子どもだけでなく、大人やご高齢の人まで幅広い世代の人たちが使う大切な場所です。また、建物の中には色々な設備や道具もあります。みんなが自由に遊ぶためには、安全のことや他に利用する人のことも考えて細かいルール作りが必要です。そのためすぐに無料で開放するのは少し難しいと思います。その代わりに、先ほど保科議員より「校庭開放の時間変更について」質問がありました。豊山町ではみんながもっと遊べるようにするために、今年から小学校の運動場を開放しています。広い運動場で、思いっきり鬼ごっこをしたり、スポーツを楽しんだりすることができるので、ぜひご利用ください。次に豊山小学校のなかよし山の利用について、ご質問をいただきました。なかよし山は、昭和44・45年度のPTA記念事業の一環としてつくられたものです。校庭にたくさんの遊具がある中で、なかよし山は子どもたちからとても人気がある遊具でした。しかし、なかよし山は、岩がむき出しになっていたり、接地面がコンクリートだったりするため、これまでも、なかよし山を利用したことによる怪我が多くあり、病院で治療を受ける事態もありました。学校としては、皆さんの安全面を考えた上で使用を禁止しています。今後については、伊藤議員のご意見も参考にしながら、安全を第一に考え学校と相談してまいります。

○議長（平田隼敏君） 北川教育長

○教育長 私からは特に「なかよし山」についてお答えをいたします。「なかよし山」ができた昭和40年代、もう今から50年以上前になりますけれども、それと比較しますと現代は、子どもさんの遊びが随分変わってきたように思います。先ほど町長の発言ありがとうございましたけれども、車社会が進み人口が増える中で、町の広場で遊んだり木登りをしたりするお子さんも随分少なくなってきたように思います。最近では室内で、テレビゲームをするなど体を使った遊びが少なくなった、こんなような印象を持っています。それに伴い我々大人も含めて、怪我をしやすい遊びや遊具を避けているのかなと、こ

んなことも思っております。一定のルールの中で、少しは冒険心を持って遊ぶこともたくましく育つためには必要なことではないかと思えます。施設の安全配慮はもちろん最優先であります。人気のある遊具であるならば、安全への工夫ができないか、歴史のある遊具を残すことができないか、伊藤議員の気持ちを校長先生にも伝え、学校とよく相談していきたいと思えます。よろしく願いいたします。

○議長（平田隼敏君）只今、答弁がありました。再質問はありませんか。伊藤境舵君

○伊藤委員 大変よくわかりました。ありがとうございます。

○議長（平田隼敏君）伊藤境舵君の質問が終わりました。それではしばらく休憩とします。再開は、10時30分とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時15分 休憩

午前10時30分 再開

○議長（山口蓮君） 休憩を閉じ、再開します。後半の議長を務めます、豊山小学校6年 山口 蓮です。後半も引き続き、皆さんの声を大切にしながら、よい提案ができるよう進めていきたいと思えます。皆さんの協力をよろしくお願い致します。それでは、一般質問を続けます。豊山小学校6年 阿部陽人君の発言を許可します。阿部陽人君

○阿部議員 豊山小学校6年 阿部陽人です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせていただきます。1点目は、ボールが使える公園についてです。理由は、僕はラグビーをやっていて、今は庭でやっていますが、大きなところを使いたいと思って公園に行きました。しかし公園に行ってもボールが使えなかった経験がありました。その時僕は悲しかったです。僕はどっかの公園で周りに配慮してやりましょうという看板を見たことがあります。豊山町の児童遊園もそのこのような看板を立てて、公園でボールを扱うことをできませんか。2点目はカラスがゴミを荒らすことについてです。理由は、ゴミ捨て場の近くを歩いているとゴミが荒れていて歩きにくかったり、車が通るのが難しかったりした経験があるからです。その時僕は滑りそうになり嫌な気持ちになりました。町民にしっかりネットをかけるなどゴミの出し方について啓発できないでしょうか。以上答弁をよろしくお願い致します。

○議長（山口蓮君） 高桑産業建設部長

○産業建設部長 1点目のボールが使える公園についてお答えします。町内には、大きな公園が神明公園と林先公園の2つあり、他にも児童遊園が25箇所あります。これらの公園などでは、ボールが人にあたりケガをする危険性があるため、ボールは使えない公園となっております。児童遊園につきましても、土地が狭いことや、民家に隣接していることなどもあり、阿部議員からご提案いただきましたように「周りに配慮してやりましょう」という看板を設置して、ボールを利用できるようにすることは、大変難しいと考えています。そのため、現在、3小学校において校庭を開放していますので、ボールを使って遊ぶときは、学校の校庭を利用させていただきたいと思えます。また、神明公園につきましても、公園の一部が、愛知県が整備を進める基幹的広域防災拠点に含まれることから、現在、工事を行っています。基幹的広域防災拠点は、災害時には支援物資などを被災地に送る後方支援拠点となりますが、平常時は、皆さんも利用することができる大きな公園になります。神明公園も含めた大きな公園では、ボール遊びができるように今後、愛知県と一緒に考えていきます。その際は、ルールを守って遊んでもらうようお願いいたします。

○議長（山口蓮君） 井上生活福祉部長

○生活福祉部長 2点目のカラスのごみ荒らしについてお答えします。過去にもカラスによって、ごみが荒らされているというお声をいただいております。町内でのカラス被害については、町としましても非常に困った問題だと考えています。町ではこれまで、カラスからの被害を減らすため、生ごみを新聞紙や紙袋などに包んで見えないようにすることや、カラスの餌となる生ごみを減らすため、食材の廃棄や食べ残しを減らすなど、ごみ出しの工夫について「広報とよやま」で、ご案内をしてきました。しかしながら、阿部議員が経験されたとおりの、なかなか被害が減らない現状もあります。そこで、本年8月から無料でカラス除けネットを貸し出しする事業を始めましたので、ご利用方法も含め「広報とよやま」やSNSなどでしっかりと周知していきます。

○議長（山口蓮君） 鈴木町長

○町長 阿部議員からは、本当に切実な訴えをいただいたという風に思っています。ボール遊びについては、阿部議員はラグビーをやっているということですけども、なかなか、

昔はね、本当に先ほども答弁がありましたけども、自由にいろんな活動ができるスペースがいっぱいあったんですけども、いろんなところ豊山町へでいくと畑がなくなってきて家が立って、という中でなかなか自由に遊べる場所がないというのが、時代の中で、今、こういう状況になってると。一方でですねやっぱり、そういう小さい公園でボール遊びしてるとですね、それが結果として他の方に当たって怪我したりとか、そういうことは出てきてね、なかなか今、そういう小さな公園等ではボール遊びは禁止というところがほとんどだと思っております。スポーツやる時にボール使うスポーツはなかなか、そういう意味で言うと場所の確保は難しいというのは十分私たちも知っております。特にね、ラグビーだと思いきりかけ回ろうとですね、どうしても広いスペースがあるけども、じゃそういう空間を例えば専用で使う、提供できるというとなかなかこれまた難しいと言って、そこに遊びに来る人たちに、ボール遊び自由にやらしてくれということもなかなか言ってもいけない、なかなかできないという、そういう難しい状況にある。基本的に、ゴミの次のカラスの問題もそうですけども、1人1人が一緒に、みんなと一緒に生活して空間の中で作り上げたルールをきちんと守れるかどうかと、そういうところに多分かかっているなと思います。例えばカラスのゴミの話でも、ゴミを出す時間ね、ゴミを出す時間は大体地域でゴミ収集の日の朝に出してくれとか、色々決めているんですけども、やっぱり夜から出しちゃう人がいるとかね、そういう基本的なルール、マナーみたいなものをどういう風に、住民の方1人1人受け止めて、で、みんながより生活しやすい、そういう環境を自分たちで作ってくんだということは、まさにおっしゃる通りで。それをどうやって町として住民の皆さんにお願いしてくかということ、非常に難しい問題だなと思っております。別に町が何か広報とか通じてそういう啓発をしてないわけではない。しているんですけども、住民の方それぞれにきちんと届いてない。この辺は、いつも町長の悩みの1つです。しかしやっぱり粘り強く、多くの方々に語り続けてくしかないかなというのも1つです。是非、こういう問題があったらこういうルールをきちんと守ろうね、ということを今のうちから、みんなが周りの人あるいは阿部さんが例えば自分が知っている大人の人たちにもね、声をかけてということをしていくことがとっても本当は大事なことかなという風に思っています。これからもそういう気がついた点があったら、あまり大きな声で強制はできないけども、お互いにルールを守りましょうね、という運動をね、是非進めていきたいなと思っておりますのでご協力いただければと思いますよろしくお願いたします。

○議長（山口蓮君） 只今、答弁がありました。再質問はありませんか。阿部陽人君

○阿部議員 今後ともこの問題についてご対応していただけると嬉しいです。これで質問を終わります。

○議長（山口蓮君） 阿部陽人君の質問が終わりました。次に志水小学校5年 今枝佳來君の発言を許可します。今枝佳來君

○今枝議員 志水小学校5年 今枝佳來です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせていただきます。私は2点のことについて質問します。1点目は、犬と人が住みやすい町についてです。豊山町も犬を飼う家が増えてマナーが守れない人も増えてきています。イエローチョーク作戦や見守り隊など町が行っている活動の周知がされていません。看板、ポスターを作成したり、学校などでプリントを配って周知活動をしていきたいのですが、費用を抑えたいので町のSNS発信を利用すれば費用も抑え周知できるのではないかと思います。また、犬と過ごせる場所が欲しいと考えています。公園はあっても犬と過ごせる公園がありません。神明公園にドッグランを作れないのでしょうか。神明公園は豊山町でも大きい公園で防災拠点にもなっているので、普段はドッグランとして利用して、災害が起きた時は犬と一緒に避難できるのではないのでしょうか。災害が起きると必ずペットとの避難が問題となっているので、その問題解決にもなるのではないのでしょうか。私はこれらのことを解決して他の地域のモデルとなる豊山町を目指したいと思っています。2点目は田畑の再利用についてです。田畑を全て家にするのではなく、田畑をそのまま学校の授業で使ってはどうでしょうか。自分たちで育てた食物を自分たちで食べて、農業の大変さを学べて、食物のことも知れていいと思います。以上答弁をお願いします。

○議長（山口蓮君） 井上生活福祉部長

○生活福祉部長 1点目のイエローチョーク作戦などの周知についてお答えします。町では、令和2年度から放置された犬のフンの周りを黄色いチョークで囲み、放置した飼い主の方に、困っている人や迷惑を被っている人がいることを伝えるイエローチョーク

ク作戦を実施しています。また、ペットマナーの看板を、希望する住民の方に無料で配布し、フンの被害がなくなるよう努めてきました。犬を飼うときのマナーやイエローチョーク作戦について「広報とよやま」やイベントなどの際に、住民の皆さんにご案内してきましたが、今枝議員からのご指摘がありましたように、まだまだ周知が足りていないことが分かりました。改めて、「広報とよやま」やSNSなどで、飼い主のマナーやモラルの向上に向けてしっかりと周知していくとともに、パトロールも実施していきたいと考えています。

○議長（山口蓮君） 高桑産業建設部長

○産業建設部長 2点目の犬と過ごせる場所についてお答えします。公園の利用者は、小さなお子様からお年寄りまで様々な方がいらっしゃいます。利用者の中には、犬が苦手な方や、犬や猫などの動物にアレルギーを持っている方などがいらっしゃいます。そのため、神明公園の芝生広場では、犬を同伴した入場を禁止しております。それ以外の場所では、「犬をリードでつなぎ、他の来園者に危害や不安感を与えないこと」、「犬のフンの始末を必ずすること」を園内の看板でお願いしております。今枝議員からご提案がありました「ドッグラン」をつくることは、犬をめぐるトラブルや事故を未然に防ぐ効果があると考えられます。また、犬の運動不足やストレスの解消、愛犬家同士の交流の場として活用できることも考えられます。その一方で、犬が苦手な方は、公園内にドッグランがあることで、公園を利用することをためられることも考えられます。公園は、誰もが気持ちよく安心して利用できる場所であることも重要であると考えています。現在、神明公園の一部を閉鎖し、愛知県が整備を進めている基幹的広域防災拠点につくり変えています。基幹的広域防災拠点は、災害時には支援物資などを被災地に送る後方支援拠点となりますが、平常時は、皆さんも利用することができる大きな公園となります。新しい公園については、愛知県が災害時と平常時の使い方について考えていますので、公園にどのような施設をつくるかを町も一緒になって考えていきます。また、基幹的広域防災拠点の隣で豊山町が整備する臨空第2公園は、災害時には避難施設となります。避難者がペットを連れて避難してくることを想定して、ペットを受け入れる場所を確保していく計画としています。

○議長（山口蓮君） 安藤教育委員会事務局長

○教育委員会事務局長 2点目の田畑の再利用について、お答えいたします。まず、学校におけるこれまでの授業での田畑の活用状況についてお答えします。かつては、学校の近くの農家の方にご協力をいただき、田植えや稲刈り、畑の苗植えや収穫を体験させていただく機会がありました。しかし、田んぼや畑が少なくなることにより、今はそういった機会は無くなりました。現在学校では、学校敷地内にある学校畑で、生活科や理科の授業で野菜の栽培等について学んでいます。今後、学校の近くで田植えや収穫体験についてご協力いただける方がみえましたら、そのような取り組みについても検討してまいります。

○議長（山口蓮君） 北川教育長

○教育長 事務局長の答弁を少し補足させてください。今枝議員からご指摘のありました農業の大変さや食物のことを考えることについては、私もとても大切なことだと思います。教育委員会では学校や給食センターとも連携いたしまして食物についてもっと理解をしていただけるような取り組みを進めております。現在も見学案内と行っておりますけども、さらに食物について理解いただけるように給食センターで新しい取り組みも今企画しておるところであります。野菜などの農作物を作る人、それをお店まで運ぶ人、そしてお店で売る人、そしてそれを買って料理を作る人、そして食べる人と、このいろんな人の手を経て私たちの口へ、食物はお口に入るわけでありましてけども、この仕組みを学ぶことが食育ということになります。いろんな観点から学んでいただきたいという風に思っております。感謝の気持ちを持って食事することを大切にしたいと私も日頃から考えておりますので、よろしくお答えいたします。

○議長（山口蓮君） 鈴木町長

○町長 今枝議員からご質問があった犬と人が住みやすい町の中、イエローチョーク作戦のこととか、それからドッグランのことをお尋ねいただきました。イエローチョークの話は、今枝議員がおっしゃった通りでまだまだルールを守っていただけない方が見えます。どうしたらいいかってのは本当にご指摘の通りで、どんな啓発をしたら、どんなアナウンスをしたらご理解いただけるかという非常に難しい問題ですが、ご提案があった例えば学校でそういう周知ができないかという、とてもいい提案にだと思いますけど、そういうことを一度考えて、よりみんなに伝わるようなアナウンスの仕方

を、これからも工夫していきたいと思っております。ペットと一緒に暮らすのは、飼われている方はベッドのことを考えますし、一方でそれじゃあって周りの人のことを、そのことをそのペットがどんな影響を及ぼすのかということについて、飼い方について、なかなか理解されないという状況もあるかと思っております。そうしたのが多分ドッグランという発想に少し出てくるんです。これは大変多くの町民の方からも希望はあります。ただ現状では町に、そうしたある意味でかなりのスペースを持たないといかんわけですから、それだけの空間を確保するのはなかなか難しいというのが現状です。しかしながら部長は答弁しましたように、これから青山の方で新しい公園の整備が進んでいきます。そうした中で少しでもそういう期待に応えられないか、よく関係者と調整していきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいという風に思います。以上です。

○議長（山口蓮君）只今、答弁がありました。再質問はありませんか。今枝佳來君

○今枝議員 ご答弁ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（山口蓮君）今枝佳來君の質問が終わりました。次に、新栄小学校5年 井尻和秀君の発言を許可します。井尻和秀君

○井尻議員 新栄小学校5年 井尻和秀です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせていただきます。私は2点のことについて質問します。1点目は食料自給率について質問します。臨空第2公園の賑わい施設の計画では夢いっぱいのアイデアがたくさん寄せられていました。僕が関心を持ったのは地元農産物の販売や、野菜の育て方の講習会などです。是非実現したらいいと思っております。日本の食料自給率は低下していて先進国の中でも最低水準になっているようです。僕は自宅のプランターなどで少しでも自分で食べ物を作る知識があったらいいと思っております。そこで質問ですが、将来の食料自給率向上や地元の特産品の開発など現在豊山町として取り組んでいることや計画していることを教えてください。2点目は、豊山町の防犯灯についてです。町のパトロールで親と一緒に夜のパトロールをしました。夜は人通りが少なく暗いので少し怖く感じました。もっと防犯灯が増えて明るくなるといいなと思います。町全体が明るくなれば安全度も高まるのではないかと考えました。いかがでしょうか。以上答弁をお願いします。

○議長（山口蓮君）高桑産業建設部長

○産業建設部長 1点目の食料自給率についてお答えします。まず、臨空第2公園に予定しています賑わい施設には、いろんな意見が寄せられています。井尻議員が実現したらいいなと思われた地元農産物の販売や、野菜の育て方の講習会なども実現できるかについて検討しています。食料自給率については、豊山町の田畑が年々減少し続けている状況からしますと、食料自給率の向上は大変難しい状況にあります。豊山町だけではなく国全体で取り組むことと考えます。豊山町の地元特産物の開発事例の一つに、秋田製麺所さんの冷凍巾広きしめん「足軽プレミアム」があります。足軽プレミアムは、除草剤を一切使わないで栽培された「きぬあかりプレミアム」という愛知県西尾産の小麦粉を100%使用した「きしめん」で、生産者と商工業者が一緒になって開発した優秀な取組として、農林水産省や経済産業省からも認定を受けています。現在、豊山町では、「新商品開発チャレンジ補助金」という補助金制度を設け、新商品の開発に取り組む町内事業者を支援しています。

○議長（山口蓮君）早川企画調整部長

○企画調整部長 豊山町では、暗い夜道で犯罪が起こらないようにするための「防犯灯」と、車が安全に走れるようにするための「交通安全灯」などを設置しております。暗くて危ないと感じられる場所があれば、現場を確認し、地域の皆さんのご了解をいただきながら、必要な場所に防犯灯を新しくつけることもあります。また、みなさんのご自宅の玄関や門の電気をつけて明るくすることで、犯罪を予防する一戸一灯運動というものもあります。このように、誰もが気軽にできることでも防犯対策の向上に繋がります。井尻議員は、親子で夜のパトロールを行われたとのことですが、豊山町の安心安全を高めるうえで非常に心強く感じました。そういった活動をどんどん広げていただきたいと思っております。今後も、地域の皆さんにご協力をいただきながら、安全安心のまちづくりを進めていきたいと考えております。

○議長（山口蓮君）鈴木町長

○町長 井尻議員からはとっても難しいテーマをいただきました。食料自給率、よくこの言葉を小学生で探してきたかなという風に非常に関心をさせていただいております。答弁の中で申し上げてあった通り豊山町のエリアという狭いところで考えるとご案内のように田畑がなくなって住宅に変わってきているという状況の中で、豊山町での生産と

いう部分でいくと非常に当然ですが、どんどんどんどん落ちてくる。豊山町で使ったもの作ったものをですね、豊山町で消費してくるということがなかなかできない状況ですけども、一部豊山町でも農業やってみる方があって、その作物を学校給食なんかで利用してくれという申出があって、そういうものは一部活用させていただいて、というそういう状況がございます。この大きな問題については議員がおっしゃった通り世界的に見るとやはり日本は非常に危ない状況にあるという、その辺をこれからどうしようかということについては、国の方で基本的にリードして対応を考えていただけたらかなという風に思っています。また町としては、議員がプランターでというお話もありましたけども、少しでも自分で野菜等を作りたいというお気持ちのある方に、限りはありますけども、いわゆる町民農園という形で一部そういう事業にも取り組んでいきますのでご活用いただければいいかなという風に思っています。またできた農作物を多少でも有効活用していくという意味で防災拠点の方での話もありますけども、一部そちらの方の新しくできる公園の中にどんな賑わい機能を持ってくかというところでご指摘の点も少しえ考えていきたいと思っていますので、ご理解いただければいいかなという風に思います。もう1点の防犯灯のことですけども、本当に夜のパトロールご苦労様です。ありがとうございます。防犯灯は、いろんな形で犯罪の抑止につながることもありますが、一方で異なる考え方があって、せっかく夜暗いのが防犯灯つくると明るくなっちゃうという意見をお持ちの方もいます。そうした意味で、防犯灯設置してくれという安全安心のために、そういう申出があると、まずはお住まいの地域の方々の了解がないとなかなか設置できないというのは現状です。そうした意味でもどんどん地域の方々でそういう安全安心について話し合っていたら、そういう場を設けていくことも大事かなという風に思っています。そうした地域のいわゆるいろんな議論する場の活発化という、そういうことも町としては取り組んでいかなきゃいかんかなという風に思っていますので、そういうことも合わせてえ考えていきたいと思っていますので、ご理解いただきたいという風に思います。以上です。

○議長（山口蓮君） 只今、答弁がありました。再質問はありませんか。井尻和秀君

○井尻議員 大変よくわかりました。質問させていただきありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（山口蓮君） 井尻和秀君の質問が終わりました。次に、豊山小学校6年 佐藤豊久君の発言を許可します。佐藤豊久君

○佐藤議員 豊山小学校6年 佐藤豊久です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせていただきます。僕は、安心安全な町づくりについて質問させていただきます。僕は自分の知り合いが空き巣被害に遭いました。ここで質問いたします。豊山町の防犯カメラの設置はどのようになっているのですか。安心安全な町づくりのためには防犯カメラを増やした方がいいと思います。どう思いますか。また安心安全な町づくりのためには挨拶運動が大切だと思います。その理由は、自分の親や友達がみんな挨拶を行えば、地域の結束を高め犯罪者が近づきにくくなると思います。町長はどう思われますか。以上答弁をお願いします。

○議長（山口蓮君） 早川企画調整部長

○企画調整部長 豊山町では、皆さんが安心して暮らせるまちを目指し、小中学校や保育園などに防犯カメラを設置しています。また、地区が防犯カメラを設置する際の補助制度もあります。これらにより、犯罪を抑え、より安全な環境づくりに取り組んでいます。また、防犯カメラの設置場所については、地域のみなさんと一緒に、より効果的な場所を検討しています。安心安全な町づくりのためにあいさつ運動が大切だのご意見は、まさにその通りであると思います。昨年、「あいさつ運動・ごみ拾い運動」宣言を行いました。「1日に1人あいさつをしよう・1日に1つごみを拾おう」をスローガンに、多くの方々と共にあいさつ運動とゴミ拾い運動を行いました。このような運動の積み重ねが、安心安全で活気あふれる町につながっていくものと感じました。今後も、地域の皆さんのご協力をいただきながら、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

○議長（山口蓮君） 鈴木町長

○町長 佐藤議員からは防犯灯についてということで、それを通じた安心安全な町づくりについてということでお尋ねをいただきました。先ほどの防犯灯の話とリンクするところがあるんですけども、実は防犯カメラは少しね問題がある、なかなか皆さん一般の方々なかなか気づかれないんですけども。実は防犯カメラはどこに設置してもいいというものではないという、どういう意味かということですね、当然あの公のなかなか

難しいかな、道路とかそういう空間を映すと誰でも映っちゃうんですね。いわゆる一方でプライバシー保護の問題とバッティングするんですよ。バッティングで、ぶつかっちゃう。過去いろんな形で裁判というのも実は行われたことがあって、誰もが防犯カメラを設置できるわけではない。それぞれの自治体でつけてもいい人、そういう許可を持てば公道で公のところを映すカメラを作ってもいいよということで、豊山町ではその地域の方々の団体に設置したいという申出があるとそれについては使用の仕方、使い方そういうことをきちんと書いたものを出していただいて、そういう団体じゃないと防犯カメラを設置できない、そういう状況です。もちろん個人で使われる方もありますが、個人の方も逆に自分の敷地内を映す分はいいんです。公道を映す分について、さっき言った問題が出てきてよく裁判になったという状況もあります。そうしたことはちょっとなかなかご理解いただくの難しいかわかりませんが、そういう中で防犯カメラというのは設置をされていますよ、ということですですから、これからも必要なところについてはその地域コミュニティできちんと議論していただいて、使い方等きちんと決めていただいて、管理方法を決めていただいて、その上で町の方として設置について一部支援をしていくという状況で進めていきたいと思っています。そのためにはカメラの設置、要するに地域の了解が要るということを言いましたけども、地域の方々がですね、自分たちの地域の安全安心をどう取り組んでかっていうことをきちんと議論していただいて、それぞれの地域で防犯活動ですね、いろんな形でできますので、いろんな形で組んでいただいて豊山町はより安心安全な町になっていく、ということをして是非お願いしたいという風に思います。以上です。

○議長（山口蓮君）只今、答弁がありました。再質問はありませんか。佐藤豊久君

○佐藤議員 大変よくわかりました。ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（山口蓮君）佐藤豊久君の質問が終わりました。次に、豊山小学校6年 平田隼敏君の発言を許可します。平田隼敏君

○平田議員 豊山小学校6年 平田隼敏です。議長のお許しを得ましたので、質問をさせていただきます。私は豊山町や通学路を綺麗にすることについて質問します。提案は2つあります。僕は通学団の班長なのですがケーキ屋さんの前の歩道にゴミがたくさん落ちていて1年生が転んで怪我してしまう可能性があり、そして自転車がゴミを踏んでしまってパンクしたりバランスを崩したりして怪我をしてしまうし、ゴミを自転車が避けて変な通行をして人とぶつかって事故が起こって重傷者や死者が出るかもしれないので、豊山町民の安全のためにこの提案をします。ゴミをゴミ箱に捨てるように町で呼びかけをしてみてもどうでしょうか。けれど誰かによってゴミ箱が荒らされてさらにひどくなってしまってもいけませんので、私はさらにもう1つ提案します。ゴミ箱の近くに「監視カメラを設置してます」という看板を置いてかつ監視カメラを設置してみたらどうでしょうか。この提案をする理由は置くだけで止められると思ったからです。以上答弁をお願いします。

○議長（山口蓮君）井上生活福祉部長

○生活福祉部長 平田議員は通学団の班長として、通学団のメンバーを交通事故から守るために、メンバーの安全な通行に気を使いながら、時には歩くのがゆっくりな下級生を見守りながら、その役割をしっかりと果たしていることに感謝しています。本当にありがとうございます。通学路にごみが散乱しており、1年生がごみに足をとられて転んでしまうのではないかと、自転車に乗っている人もバランスを崩し転倒してしまうのではないかなど、様々な危険な状況となる想定をいただきました。町ではきれいなまちをつくるために、令和4年10月に「きれいなまちづくり条例」を制定しました。この条例は、町や町民、事業者の方たちがみんなで協力し、きれいなまちにしていこうというもので、例えば、自宅以外の場所であき缶やごみくず等が生じた場合には、ポイ捨てをせず、回収容器へ入れるか自宅へ持ち帰ることなどを定めています。また、令和5年度から「あつまれ！ピカッと隊」への参加を呼びかけ、隊員がまちに落ちているごみを拾い、豊山町をピカピカにする運動も始めました。このイベントには、たくさんのお中学生を含む町民や事業者の方たちに参加していただいております。こうしたイベントをきっかけとして、日ごろから皆さんが住む豊山町をきれいに保つ意識をもってもらい、ごみのないきれいなまち、ごみを捨てられないまちにしていきたいと考えています。町としましては、ごみの出し方などの周知はもちろんのこと、これからはピカッと隊の活動を通じて、皆さんと一緒にきれいなまちにしていきたいと考えていますので、平田議員のご提案とは違う形での取組みとなりますがご理解いただきたいと思います。

○議長（山口蓮君）鈴木町長

○町長 平田議員から通学路、豊山町を綺麗にしたいという熱い思いが伝わりました。今回通じてですね、例えば道の雑草の話とか、それから側溝の安全対策とか、それからカラスのゴミの問題とか、主に日頃豊山町で生活してく上にいろんな問題を子どもたちがしっかりと考えていることに非常に驚いてます。そうした気持ちですね、大人にもきちんと伝わって豊山町が本当に綺麗な町になっていくということを町長自身も本当に願ってますし、進めていきたいという風に思ってます。本当に例えばそのゴミ箱を設けてね、きちんと監視するような形でしたらどうだというご提案もあったんですけども、先ほど説明しましたようになかなかカメラの使い方が制約されてる、誰もが簡単にカメラつけて監視していいよという理解がまだ社会的には得られてないという状況になります。そうした意味でそういう手法を取るとはなかなか町としてはできないということをご理解いただきたいなど、ですから逆に言いますと、皆さんから提案にあったようにそれぞれの住民の方一人一人が、みんな一緒に共同でこの町で生きているんだということを念頭に置いていただいて、他の人も住みやすいそのためには自分はどのような行動を取ったらいんだということを、きちんと学んでいただく、とか守っていただく、そういう取り組みをね進めたいと思っております。で、1番有効なのは、町長は昔から思ってますけど、子どもたちが自分の親にきちんと言うことです、ルール守りましょうね。これ多分1番効くと思ってますね。ですから是非ね、そういう取り組みを自分の親に対してもあるいは周りに対してもちょっと言いつらいかもわからないけど、勇気を持っていただくことも必要かなと思ったりします。町は町としてね当然、住民の方々にルールを守っていただくような啓発はこれからもいろんな手法でお願いしていただいておりますので、ご協力いただくようお願いいたします。どうぞよろしくお願いたします。

○議長（山口蓮君）只今、答弁がありました。再質問はありませんか。平田隼敏君

○平田議員 監視カメラを設置するのは、とても大変なことがよくわかりました。これで質問を終わります。

○議長（山口蓮君）平田隼敏君の質問が終わりました。以上で10名全員の質問が終わりました。ここで、町長よりあいさつを受けます。鈴木町長

○町長 今日には本当にいろんな形でお尋ねをいただきまして誠にありがとうございます。本当に我々大人が、気づいてもほかりっ放しにしていることも多々あるのかなという風に思って自分自身も含めて反省をします。少しでも皆さんの意見がこれからの町政に反映されるように、引き続き議員の皆さんと、子ども議員じゃなくて町の議員の皆さんと一緒にね、豊山町をより良い町にしていくように務めていきたいと思っておりますので、子ども議員の皆さんもこれからご協力いただくとともに、自分自身とか豊山町をよくするために自分が何ができるかということも考えて一層成長されることを期待いたしましてご挨拶とさせていただきます。保護者の皆様も、今日は本当にありがとうございました。これからも1つよろしくお願いたします。以上でございます。

○議長（山口蓮君）これで、本日の日程はすべて終了しました。以上をもちまして、令和6年度豊山町子ども議会を閉会といたします。ありがとうございました。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時32分 閉会